

ひまわり通信

№4 平成20年 7月 2日

新潟市立東青山小学校

校長 斎川 英子

児童数 619人

(231)9611 fax(231)9623

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp



人の役に立ちたい

朝、玄関の戸が開くのを待って、子どもたちが校舎に駆け込んできます。それぞれに、朝の仕事が待っているのです。

東青山小学校の朝の様子を紹介しましょう。

5年生と6年生と一緒に活動している委員会が当番の仕事を始めます。

フラワー委員会は、玄関前の花壇やプランターに水やりをします。ラビット＆コケッコ委員会は、マスクとビニール手袋をして、ウサギと鶏の世話を行います。放送レンジャー委員会は、朝の音楽を流し、一日の始まりを告げています。

各教室では、係当番の仕事が始まります。このごろは、1年生も張り切って当番活動を行っています。

驚いたのは、廊下と階段の掃除をしてくれる子どもたちのことです。毎朝、6年生の子どもたちが交代で続けてくれています。

この前、階段の隅を卓上用の小さなほうきで丁寧に掃いている子どもに会いました。感心して聞いてみると、「おばあちゃんが家でやっていたよ。」という答えです。階段の隅や手すりの下は、ほこりがたまりやすく普通のほうきでは掃きにくいと言われたことを思い出したのだそうです。

25分休み、昼休み、放課後にも、子どもたちの当番活動が行われています。

このように、東青山小学校では、みんなが気持ちよく学校生活を送ることができるように、毎日、ボランティア活動が続けられているのです。



えさやりをする「ラビ＆コケ委員会」

学校外でも、子どもたちの「人の役に立ちたい」というボランティアの姿が見られます。自治会長の寺西康佑さんから嬉しいメールが届きましたので紹介します。

いつもカメラの子の子どもたちが、お世話になっています。うれしいニュースです。

当自治会は、「ごみ減量化＆有料化」に伴い「ごみボランティア」を募集しました。のべ人数で、34名集まりました。その中に、子どもたちも応募してくれて、お母さんと一緒に2時間、ごみステーションに立ってくれました。その姿を見て、大人達も感動して、ごみの新分別に大変協力してくれました。(以下略)

「人の役に立ちたい」という気持ちをもって行動する子どもに育ってほしいと思います。それには、子どもの善い行いを心から喜んでくれる周りの大人の温かい眼差しが必要です。学校も、家庭も、地域も、子どものよいところを見つけて、それをどんどん子どもに伝えていきましょう。